

CubeSuite+用 RL78ファミリ, 78K0R, 78K0 コード生成 ご使用上のお願い

CubeSuite+用 RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成 (CubeSuite+ Code_Generator for RL78_78K) の
注意事項を連絡します。

- Port2 設定時の注意事項 (対象: RL78/L13グループ)
- インターバルタイマ設定時の注意事項
(対象: RL78/G10、RL78/G12、RL78/G13、RL78/G14、RL78/G1A、RL78/G1C、
RL78/L12、RL78/L13、RL78/L1C および RL78/I1Aグループ)

1. Port2 設定時の注意事項

1.1 該当製品

CubeSuite+用 RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成
(CubeSuite+ Code_Generator for RL78_78K) V2.03.00

1.2 該当マイコン

RL78ファミリ: RL78/L13 グループ

1.3 内容

ポート機能のPort2 で、アナログ兼用ポートのP20～P27へ入力または出力を
選択しても、生成されたコードにポート・モード・コントロール・レジスタ
(PMCLレジスタ) の設定が反映されません。

1.4 回避策

P20～P27をポートとして使用する場合は、R_PORT_Create関数へPMCLレジスタの
正しい値を追加してください。

PMCLレジスタの値は、ユーザーズマニュアル ハードウェア編をご参照ください。

1.5 恒久対策

CubeSuite+用 RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成 の次期バージョンで改修する予定です。

2. インターバルタイマ設定時の注意事項

2.1 該当製品

CubeSuite+用RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成
(CubeSuite+ Code_Generator for RL78_78K) V2.03.00

2.2 該当マイコン

RL78ファミリ: RL78/G10、RL78/G12、RL78/G13、RL78/G14、
RL78/G1A、RL78/G1C、RL78/L12、RL78/L13、
RL78/L1C および RL78/I1Aグループ

2.3 内容

タイマ・アレイ・ユニットのチャンネル1およびチャンネル3において、インターバルタイマ設定で「上位と下位8ビット」を選択した場合、「カウント開始時に割り込みを発生する」がグレー表示となり、チェックすることができません。

2.4 回避策

「カウント開始時に割り込みを発生する」を選択したい場合、
void R_TAU0_Create(void) で出力されるTMRレジスタ設定行 (注1) の
bit0 (注2) を修正してください。

注1: TMRレジスタ設定行はTMRmnで始まります。

m: ユニット番号 (m = 0 または 1)

n: チャンネル番号 (n = 1 または 3)

注2: bit0の値は以下の通りです。

0 : カウント開始時にタイマ割り込みを発生しない

1 : カウント開始時にタイマ割り込みを発生する

例: カウント開始時にタイマ割り込みを発生させる場合

```
-----  
void R_TAU0_Create(void)  
{  
.....  
    /* Channel 1 used as interval timer */  
    TMR01 = _4000_TAU_CLOCK_SELECT_CKM2 | _0000_TAU_CLOCK_MODE_CKS  
|  
    _0800_TAU_8BITS_MODE | _0000_TAU_TRIGGER_SOFTWARE |  
    _0000_TAU_MODE_INTERVAL_TIMER | 0x01;    // 0x01 を追記  
.....  
}
```

2.5 恒久対策

CubeSuite+用 RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成 の次期バージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.